



Embassy of Japan

2014 年 12 月 26 日

親愛なるカンボジアの皆様

カンボジア駐箚特命全権大使の隈丸優次です。皆様いかがお過ごしでしょうか。

今回はアンコール遺跡の保存修復にご紹介し、皆様から大変多くの反響をいただきました。今回はまだあまり知られていない地雷・不発弾除去に関する日本の支援についてご紹介したいと思います。

日本はカンボジアにおける 91 年の平和協定締結以降現在に至るまで、カンボジアに対し、累積額で最大の二国間ドナーとしてカンボジアの国家再建と発展を支援してきております。日本の支援は、インフラ整備、人材育成、民主化支援、母子保健等様々な分野に及んでおりますが、地雷・不発弾除去の分野でも積極的に支援を展開しております。

地雷・不発弾除去の問題は、地雷・不発弾の除去自体も大変重要ですが、これに加え、仮に土地がきれいになったとしても、その土地がその地域に住む人々により活用されなければ人々の生活水準が上昇しないことから、地元の人々の生活まで視野に入れた長期的な視点による社会支援活動も必要です。

我が国はカンボジアへの地雷・不発弾除去分野における支援を 1998 年から実施しており、これは草の根レベルの支援から地雷除去機などの機材供与、個別専門家のカンボジア地震対策センター（CMAC）への派遣など多岐にわたり総額で 148 億円に上ります。さらに、2013 年からは地雷除去地を対象とした農村開発支援も実施しています。

また、日本の NGO である「日本地雷処理を支援する会」（JMAS）は 2002 年よりカンボジアで地雷・不発弾除去に関して CMAC 隊員への協力を行っている他、農作物の販売のために地雷原であった土地から街までを繋ぐ道路の建設や、移り住んできた人々のための小学校の建設等を行っています。日本企業も地雷除去機の提供の他、除去地への小学校建設等で貢献しています。

さらに、日本は、ASEANにおけるカンボジアのイニシアティブも支援しています。2014年11月2・3日にシアムリアップにて、ASEAN地雷アクションセンター（ARMAC）設立に向けたセミナーが行われましたが、日本は、日ASEAN統合基金（JAIF）を通じてセミナー開催を支援しました。カンボジアが、地雷除去・不発弾除去分野での長年の経験と知見を生かし、ASEAN地域の平和と安全のために貢献することを歓迎します。

また、カンボジアは、地雷・不発弾除去の分野において、PKOにも積極的に部隊を派遣しています。カンボジアの活動がより良いものとなるよう、日本の防衛省・自衛隊は、2012年以降、PKO派遣前訓練を行うカンボジアの国家平和維持・地雷処理爆発性戦争残存物除去センター（NPMEC）に対し自衛隊員を派遣、カンボジア人教官を育成してきました。日本がPKO活動に初めて部隊を派遣したカンボジアが、今ではPKOに部隊を派遣する国として、我が国と協力しつつ国際社会の平和維持や人々の安全の向上に貢献していることは感慨深いものです。

地雷原は主に主要都市から離れた地方にあります。こうした地方においてもその国の発展と人々の生活向上ために命がけで活動する日本やカンボジアの人々へ敬意を表したいと思います。そして、1日も早くカンボジアの人々、そして世界の人々が、地雷・不発弾の脅威から解放され、安心して生活できるよう、日本政府としても同分野での支援を継続していく所存です。

まもなく2014年が終わり、新しい2015年を迎えます。

新しい年が皆様にとって益々幸せで良い年であることを心から願っています。

カンボジア王国駐劄特命全権大使

隈丸 優次

